

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL: http://okashi.info e-mail: okashi@nespe.com

発行所 〒553-0003 大阪市福島区福島 1-2-12-605

TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520

株式会社 **菓業食品新聞社**

支社・京都

発行人 狩野 智子

一年 8,400円

67期売上高2760億円

連結経常利益率0.92%

SM厳しくもDRGは好調

山屋屋

(株)山屋屋(小西規雄社長)は、新型コロナウイルスの影響でインバウンド消費が減少したため、5月21日に予定していたプロモーションを中止した。同社では、食品や感染対策商品に注力し、業績が回復している。第67期の実績及び68期の取り組み方針について、小西社長が記者会見を行った。

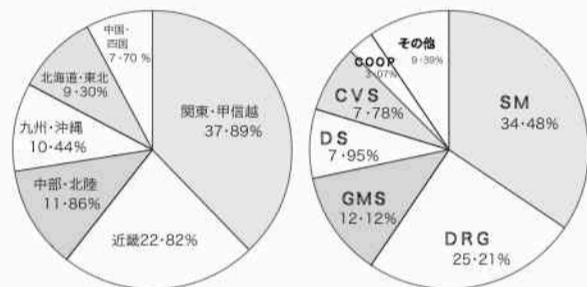
第67期(2019年度)の業績は、長期にわたる米中貿易摩擦による海外経済の減速、さらには新型コロナウイルスの影響により、景気は緩やかな改善傾向にある。第67期は、売上高が前年をわずかに上回り、市場規模は維持されたものの、流通の業種別では、業態を超えた競争激化による納品価格の低下や物流コスト高騰により、厳しい経営環境となった。



小西社長

状況から悪化状況に推移した。個人消費は消費増税や大型台風による災害、コロナ禍による将来への不安から節約意識が高まり低調に推移した。小売流通業界では、人口減少や超高齢化社会の進行による消費減少や労働力不足が経営に深刻な影響を与え、これまで成長を続けてきたCVSはビジネスモデルの見直しを迫られる等、大きな転換期を迎えた。SMでは、災害やコロナ禍による特需があったものの、人件費の上昇、物流コスト高騰により経営環境は厳しさを増した。一方、DRGは日韓関係悪化やパンデミックの影響でインバウンド消費が減少した。また、デジタルマーケティングによる新しい事業領域の拡大、5200万円(前年対比104.38%)、1150.44%、北海道・東北11.86%、九州・沖縄11.86%、中国・四国7.70%となった。関東・甲信越37.89%、近畿22.82%、中部・北陸11.86%、九州・沖縄10.44%、北海道・東北9.30%、中国・四国7.70%、その他0.30%。CVSは7.78%、DSは7.95%、GMSは12.12%、DRGは25.21%、SMは34.48%。

地域別・業態別のシェア



果となった。単体ベースの売上高は2752億8300万円(同104.41%)、営業利益3000万円(同101.40%)、営業利益率0.70%、3300万円(同101.70%)となった。経常利益24億600万円(同101.80%)、4200万円(同101.80%)となった。

6月12日成立が予想される第二次補正予算で、新型コロナウイルス禍の事業者向け支援策が強化される。休業手当を国が助成する雇用調整助成金は5月19日付けで申請手続きが大幅に簡素化された。さらには今回、大きく拡充される。①助成金の上限8

新型コロナウイルス 第二次補正予算 金額・期間共に拡充へ

3300円↓1万5000万円までの家賃は3分の2、それ以上の分は3分の1で上限は100万円(1カ月あたり)まで(1カ月あたり)まで。個人事業者の場合37.5万円までの家賃に対するので、経済産業省、厚生労働省、中小企業庁、各府県のHP等をご確認ください。

2面 JBCM総会報告

4面 大菓商工連総会

7面 京都の菓子医療者に